

NU-CAR 2018 年第 1 回基礎講習会

テーマ：自動車人間工学における統計的分析の実践

－ 主観的評価と統計解析の連携・活用の基礎 －

人間工学でよく使われる主観的評価法は、上手に使える人間の諸特性や車の諸性能を手軽に計測・評価できますが、事後の分析（統計的手法）まで包括的に考えてデータを収集することが活用ポイントの一つです。一方で、統計的分析は PC ソフトウェアで容易にできますが、誤用を避けるためには、分析手法の考え方を大まかに把握した上で活用していくことが求められます。今回の講習会では、主観的評価を実践する上でのポイントを解説した上で、車の機能・性能評価や開発初期段階のユーザニーズ調査等で活用される統計手法にスポットを当てて、考え方や使い方を解説します。

- 開催日：2018 年 8 月 1 日（水） 11:00～17:30（昼休みあり）
- 場 所：日本大学生産工学部津田沼校舎 38 号館 201 室（千葉県習志野市泉町 1-2-1）
- 主 催：日本大学生産工学部 自動車工学リサーチ・センター（NU-CAR）
<http://nu-car.jp>
- 講 師：日本大学生産工学部マネジメント工学科・教授 石橋 基範



<プロフィール>

マツダ株式会社に入社後、技術研究所（～2012 年 6 月）、車両実研部クラフトマンシップ開発グループ（～2014 年 2 月）。同年 4 月より生産工学部マネジメント工学科に勤務。専門は人間機械システム、人間工学。

博士（工学）（2009 年 3 月）

自動車技術会プロフェッショナルエンジニア（人間工学・研究開発）

日本人間工学会 認定人間工学専門家

【講習内容】 Microsoft Excel(2010 以降)をインストール済みのノート PC をご持参ください。

1. 主観的評価における尺度設定の基礎
2. 2つの条件・群の違いを調べる方法：t検定, F検定 ⇒実験等で設定した条件間や群間の比較
3. 比率の偏りを調べる方法： χ^2 適合度検定, χ^2 独立性検定 ⇒ネット調査等での選択肢の回答者比率の比較
4. 2つの変数の関係を調べる方法：相関と回帰 ⇒主観的評価と物理量の関係づけ
5. ある1つの変数と他の複数の変数を関係づける方法：重回帰分析 ⇒主観的評価と複数の物理量の関係づけ

※「統計を多少は使ったことがある」レベルの方を主対象として想定しています。

※ Excel で作ったデータ(例題)による演習を適宜交えながら進める予定です。

◆参加費：賛助会員（1 口 3 名様まで無料）、一般参加者 30,000 円、協賛学会員（自動車技術会等）25,000 円

◆参加受付期間：2018 年 6 月 20 日（水）～7 月 20 日（金）

* 定員に達し次第、締切とさせていただきます。

◆募集定員：最少 5 名。最大 30 名程度 * 最少人数に満たない場合には、原則として開催中止とさせていただきます。

◆参加申込み・問い合わせ：担当：長峯（Phone: 047-474-3188、E-mail: cit.nu-car.info@nihon-u.ac.jp）

NU-CAR LECTURE SERIES